

<p>(職種別回答全般)</p>		<p>公衆衛生行政の従事職員にはいろいろな職種がいる。その中で専門性を生かした分野への(能力習得)ということだが、やはり大前提は公衆衛生だから技術吏員で事務職ポストにつく等どこへでも配置される場合があると思う。そのため私は4階級の習得レベルをこのように解釈している。つまり「知っている必要あり」は知っているけれども他人に説明できない、「理解している必要あり」は知っておりかつ他の人に説明ができる、「実践で応用できる」は勿論他の人にも説明でき自ら実行できる、というように理解している。そう解釈をして判断をすると、公衆衛生従事職員の行政職員が大前提になるので、殆どが「理解している必要あり」以上になってしまう。職位職階にかかわらず公衆衛生従事者であれば、知っていても他の人に説明ができないのなら知らないと一緒に、という解釈もできると思う。</p>
<p>「その他」</p>		<p>(同じ職場で他の人に能力習得を)要求する立場だったら、全部を「実践で応用できる」につけたい。今回の検討対象である調査資料は、それぞれの職種が自分たちで考えてどのくらい(の習得レベルが必要)かという集約結果だと思うので、できるだけその意見を生かした方がいいと思う。</p>
<p>歯科</p>	<p>2-8 「対外的に組織間調整を行うことができる(医師会・近隣自治体・国など)」</p>	<p>職種「その他」のバックグラウンドは何? 「実践で応用できる」を選んでいる人が多いのはちょっと気になる。</p>
<p>歯科</p>	<p>2-9 「健康危機管理に係る各対策の目標を認識して住民や外部機関にそれを説明できる」</p>	<p>歯科だったら歯科医師会、薬剤師だったら薬剤師会と、それぞれ固有の団体を持っている。一番力を発揮すべき部分であって、恐らくいろいろな職種が「実践で応用できる」にしてもらわれないと困る能力ではないかなと思う。「理解している必要あり」のレベルは必要。</p>
<p>管理栄養士</p>	<p>2-10 「対応に必要な責任体</p>	<p>全部(の職種で)「理解している必要あり」でいいのではないか。</p>

	制と簡潔な意思決定プロセスを迅速に確立することができる」	
事務職	2-1-5 「記録文書や科学論文として一連の対策を総括することができ」	記録文書化と科学論文とは全然違う。記録文書はちゃんとやってほしいが、科学論文までは(求めなくとも良いのでは)。
医師	2-1-6 「地域健康危機管理計画を策定・実施することができる」	「策定・実施」は医師だけでやるものではないと思う。実態として計画の策定は担当レベルから実務者がやるものなので、「実践で応用できる」をすべての職種に求めてもいいように思うが。
保健師、医師	2-1-8 「地域健康危機管理に必要な人材育成を企画・調整・実施することができる」	例えば保健所の感染症危機管理では、高齢者の施設の感染症危機管理の研修の企画等は、保健師が一番頑張ってる場所がある。地域の中の人材育成能力は保健所としてもすごく欲しいと思う。「理解・・・」よりも「実践・・・」が妥当では。
(職種別)回答全般		アンケート回答者の総意をどう扱ったら良いのか。調査回答集計結果では「理解・・・」だが、本当は「実践で応用できる」レベルまでできやしないのであれば、そのレベルまで今後上げていかねばならないということなのだろう。
(職種別)回答全般		オレンジ (色で資料に示された箇所)と「？」マークというところ (箇所)は、オレンジ (のところ)は (意見が割れているところなので)、(最終案への同意に)「いいえ」が多いので、今回の会議参加者でもう一回検討しようということ。
放射線技師、衛生(臨床)検査技師	2-1-8	企画・調整・実施というオーバーオールの設定になっているので難しいが、地方衛生研究所の場合職種という意識を持たせず、しかも他人に説明できないのは知らないのと一緒に、という解釈で考えれば「理解・・・」は最低欲しいと思う。
医師	2-2-2 「行政に関する知識・技能」	議会対応などが入ってきた場合「実践・・・」が必要と思う。保健所では有能な補佐がいてくれると「理解・・・」でもいいのか・・・。本庁にいると、いやが応でも「実践・・・」が必要。医師=保健所長という認識で考えるなら、保健所長だったら「私は

		行政に疎いです」は絶対言えないから「実践・・・」だと思おう。ただ、有能な事務職がいるから絶対大丈夫だということなら「理解・・・」でもいいかもしれない。
職位別		
管理的立場の保健医療専門職	「発生事態のインパクト（影響の大きさ）推計に必要な知識・技術を身につけている」	健康危機発生初期でインパクトをはかるのがとても大事。「実践で応用できる」というのがあるべき姿。実践で応用できないと困ると思う。
管理的立場の事務職	「判明事実・対策方針等の迅速・正確な内外に対する情報提供及び説明能力。スポークスマンとしての役割」	当然「実践で応用できる」。
管理的立場の事務職	「対応に必要な責任体制と簡潔な意思決定プロセスを迅速に確立することができる」	当然「実践で応用できる」。
管理的立場の事務職	「受身対応ではなく、積極的に対策の方針や判明した事実・教訓を発信できる」	発信は重要。「実践で応用できる」レベル必要。
非管理的立場の保健医療専門職	E対策後フォロー「PTSD（心的外傷後ストレス障害）や社会的弱者への対応ができる」	保健師も入るわけなので「理解している必要あり」以上は必要。
管理的立場の保健医療専門職	平常時に必要なコンピテンシー 16 「地域健康危機管理計画を策定・実施することができる」	「理解している必要あり」でいいのではないか。平常時のコンピテンシーは、みんな「理解している必要あり」でいいのでは。計画策定はみんななでつくる。管理職1人でつくるわけではない。
管理的立場の保健医療専門職	「組織間連携に必要な事項（合	「実践で応用できる」の方だと思えます。

健医療専門職	同図上訓練など)を企画・調整・実施することができる」	
		本検討会での議論は妥当性の証明になるのか。検討のたたき台にした調査質問の聞き方に関しても、本庁が保健所かで随分違うだろうという議論が出ていた。曖昧さを踏まえた上でないとバイアスがかかりかかった形で伝えるようなことにもなりかねないと思っている。
		すべきだという話と絡めると、ざっと見ると、習得が必要なコンピテンシーに差が余りなく職種に共通しているなと思う。
		事務職も含めて公衆衛生業務に従事している職員にとつて、最低限の職務遂行能力というものがこのアングケートの一番低い習得レベルをピックアップすれば出せるのではないか。

- i) 橘とも子、健康危機管理研修のプログラムの開発・実施・評価、厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業、「地域における健康危機管理研修に関する研究」(主任研究者:加藤則子)平成17年度研究報告書;2006. p.7-203.
- ii) 水嶋春朝, 橘とも子, 兵井伸行, 綿引信義. 公衆衛生医師等の専門的能力の構造分析. 厚生労働科学研究費補助金健康科学総合研究事業「公衆衛生医師等の専門的能力の構築とその向上に資する教育研修プログラムの開発に関する研究(主任研究者:曾根智史)」平成17年度総括・分担研究報告書;2006. p.5-20.
- iii) 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標、効果の評価および人育成に係るe-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究(主任研究者:橘とも子)」平成18年度総括・分担研究報告書. 平成19年3月.
- iv) 厚生労働科学研究費補助金地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標、効果の評価および人材育成に係るe-ラーニングプログラムの開発評価に関する研究(主任研究者:橘とも子)」平成19年度 総括・分担研究報告書. 平成20年3月.

【職種別】地域健康危機管理コンピテンシー Delphiメンバーによるディスカッション結果

事前調査への回答者の職種

医師	5
研究職	1
保健師	2
歯科衛生士	1
薬剤師	1
事務職	1

発生の「第一報」「初動調査結果」から、地域保健上のインパクト（影響の大きさ）を計る（量る）能力
 2-1 平常時から非常事態への移行を判断することができる

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーの レベル最終案 A
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	738	0.1%	7.2%	50.0%	42.4%
②医師	289	191	190	0.0%	1.0%	26.2%	72.3%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	26.1%	65.2%	8.7%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	6.1%	48.1%	45.0%
⑤管理栄養士	57	39	39	2.6%	7.7%	79.5%	10.3%
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	7.7%	60.3%	32.1%
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	7.4%	60.3%	32.4%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	19.4%	61.1%	19.4%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	0.0%	8.6%	62.9%	28.6%
⑩事務職	97	72	72	0.0%	13.9%	58.3%	27.8%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	0.0%	46.9%	53.1%

2-2 発生事態のインパクト推計に必要な知識・技術を身につけている

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーの レベル最終案 A
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	736	0.1%	10.8%	60.0%	28.5%
②医師	289	191	189	0.0%	2.1%	44.5%	52.4%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	26.1%	60.9%	8.7%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	5.3%	64.9%	29.0%
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	25.6%	64.1%	10.3%
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	7.7%	60.3%	32.1%
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	13.2%	64.7%	22.1%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	22.2%	61.1%	16.7%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	0.0%	12.9%	77.1%	10.0%
⑩事務職	97	72	72	0.0%	23.6%	65.3%	11.1%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	31	0.0%	12.5%	65.6%	18.8%

2-2-1 医学・公衆衛生学の知識・技術

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	n	習得の必要はない 知っている必要あり	知っている必要あり 実践で応用できる				
①全回答集計	992	740	738	0.5%	13.5%	40.7%	45.0%	A
②医師	289	191	190	0.0%	3.7%	21.5%	74.3%	実践で応用できる
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	13.0%	56.5%	30.4%	理解している必要あり
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	3.1%	36.6%	59.5%	実践で応用できる
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	2.8%	69.2%	17.9%	理解している必要あり
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	11.5%	53.8%	34.6%	理解している必要あり
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	7.4%	52.9%	39.7%	理解している必要あり
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	16.7%	72.2%	11.1%	理解している必要あり
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	0.0%	7.1%	47.1%	45.7%	理解している必要あり
⑩事務職	97	72	72	5.6%	66.7%	23.6%	4.2%	知っている必要あり
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	25.0%	56.3%	18.8%	

2-2-2 行政に関する知識・技術

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	n	習得の必要はない 知っている必要あり	知っている必要あり 実践で応用できる				
①全回答集計	992	740	735	0.0%	6.6%	57.8%	34.9%	A
②医師	289	191	189	0.0%	3.1%	49.2%	46.6%	理解している必要あり
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	13.0%	82.6%	4.3%	理解している必要あり
④保健師・看護師・助産師	185	131	128	0.0%	6.1%	61.1%	30.5%	理解している必要あり
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	2.6%	66.7%	30.8%	理解している必要あり
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	6.4%	51.3%	42.3%	理解している必要あり
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	10.3%	60.3%	29.4%	理解している必要あり
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	13.9%	66.7%	19.4%	理解している必要あり
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	0.0%	14.3%	74.3%	11.4%	理解している必要あり
⑩事務職	97	72	72	0.0%	2.8%	47.2%	50.0%	実践で応用できる
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	6.3%	56.3%	37.5%	

2-2-3 管轄地域の基礎情報（社会資源など）

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	n	習得の必要はない 知っている必要あり	知っている必要あり 実践で応用できる				
①全回答集計	992	740	734	0.0%	16.2%	53.2%	29.7%	A
②医師	289	191	189	0.0%	3.1%	55.0%	40.8%	理解している必要あり
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	21.7%	60.9%	17.4%	理解している必要あり
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	2.3%	31.3%	65.6%	実践で応用できる
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	10.3%	64.1%	25.6%	理解している必要あり
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	29.5%	59.0%	11.5%	理解している必要あり
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	26.5%	72.1%	1.5%	理解している必要あり
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	25.0%	63.9%	11.1%	理解している必要あり
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	0.0%	40.0%	55.7%	4.3%	理解している必要あり
⑩事務職	97	72	70	0.0%	23.6%	51.4%	22.2%	理解している必要あり
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	31	0.0%	21.9%	46.9%	28.1%	

2-3 インパクト推計に必要な情報を収集することができる

第1回調査	第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A	
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり		実践で応用できる
①全回答集計	992	740	737	0.5%	13.8%	61.2%	24.1%
②医師	289	191	189	0.0%	3.7%	55.5%	39.8%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	26.1%	60.9%	8.7%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	4.6%	59.5%	35.1%
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	15.4%	76.9%	7.7%
⑥薬剤師	91	78	78	1.3%	11.5%	65.4%	21.8%
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	23.5%	61.8%	14.7%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	16.7%	69.4%	13.9%
⑨衛生検査技師(臨床検査技師を含む)	82	70	70	2.9%	21.4%	71.4%	4.3%
⑩事務職	97	72	72	0.0%	31.9%	55.6%	12.5%
⑪その他(職種その他・不明)	33	32	32	0.0%	25.0%	53.1%	21.9%

2-4 健康被害拡大防止策を組織的に講じることができる

第1回調査	第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A	
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり		実践で応用できる
①全回答集計	992	740	733	0.0%	9.6%	47.8%	41.6%
②医師	289	191	188	0.0%	1.6%	22.0%	74.9%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	22	0.0%	26.1%	56.5%	13.0%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	6.1%	55.7%	37.4%
⑤管理栄養士	57	39	38	0.0%	20.5%	51.3%	25.6%
⑥薬剤師	91	78	77	0.0%	9.0%	41.0%	48.7%
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	10.3%	61.8%	27.9%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	16.7%	75.0%	8.3%
⑨衛生検査技師(臨床検査技師を含む)	82	70	70	0.0%	17.1%	65.7%	17.1%
⑩事務職	97	72	72	0.0%	18.1%	52.8%	29.2%
⑪その他(職種その他・不明)	33	32	32	0.0%	3.1%	65.6%	31.3%

原因究明調査のマネジメント能力

2-5 初動調査等、実地疫学を羽目とする知識・技術により健康被害の原因究明調査を行うことができる

第1回調査	第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A	
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり		実践で応用できる
①全回答集計	992	740	737	0.5%	14.7%	38.8%	45.5%
②医師	289	191	190	0.0%	2.1%	26.7%	70.7%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	43.5%	43.5%	13.0%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	3.8%	38.2%	57.3%
⑤管理栄養士	57	39	38	0.0%	25.6%	56.4%	15.4%
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	11.5%	35.9%	52.6%
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	5.9%	42.6%	51.5%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	19.4%	69.4%	11.1%
⑨衛生検査技師(臨床検査技師を含む)	82	70	70	0.0%	14.3%	50.0%	35.7%
⑩事務職	97	72	72	5.6%	61.1%	30.6%	2.8%
⑪その他(職種その他・不明)	33	32	32	0.0%	18.8%	46.9%	34.4%

2-6 外部専門調査機関（地方衛所・国の機関・CDCなど）との調整・マネジメントができる

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	736	2.3%	28.8%	50.3%	18.1%
②医師	289	191	190	0.0%	8.4%	50.3%	40.8%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	17.4%	56.5%	21.7%	4.3%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	1.5%	21.4%	65.6%	10.7%
⑤管理栄養士	57	39	38	0.0%	56.4%	35.9%	5.1%
⑥薬剤師	91	78	78	2.6%	34.6%	46.2%	16.7%
⑦獣医師	85	68	67	1.5%	30.9%	57.4%	8.8%
⑧放射線技師	45	36	36	5.6%	36.1%	58.3%	0.0%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	1.4%	35.7%	48.6%	14.3%
⑩事務職	97	72	72	4.2%	55.6%	31.9%	8.3%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	6.3%	25.0%	56.3%	12.5%

対策遂行の組織マネジメント能力
2-7 所属機関内部において適切な決断や支持・調整などの組織管理ができる

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	736	0.9%	12.6%	41.1%	44.9%
②医師	289	191	189	0.0%	0.0%	18.3%	80.6%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	39.1%	39.1%	17.4%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	8.4%	63.4%	27.5%
⑤管理栄養士	57	39	38	2.6%	43.6%	33.3%	17.9%
⑥薬剤師	91	78	78	3.8%	11.5%	41.0%	43.6%
⑦獣医師	85	68	68	1.5%	17.6%	44.1%	36.8%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	27.8%	50.0%	22.2%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	1.4%	22.9%	52.9%	22.9%
⑩事務職	97	72	72	0.0%	8.3%	48.6%	43.1%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	9.4%	37.5%	53.1%

2-8 対外的に組織間調整を行うことができる（医師会・近隣自治体・国など）

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
	n	n	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	737	1.5%	18.4%	48.1%	31.6%
②医師	289	191	190	0.0%	2.6%	26.2%	70.7%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	43.5%	39.1%	13.0%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	17.6%	62.6%	19.1%
⑤管理栄養士	57	39	38	2.6%	33.3%	46.2%	15.4%
⑥薬剤師	91	78	78	3.8%	16.7%	61.5%	17.9%
⑦獣医師	85	68	68	1.5%	23.5%	64.7%	10.3%
⑧放射線技師	45	36	36	2.8%	30.6%	50.0%	16.7%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	4.3%	40.0%	48.6%	7.1%
⑩事務職	97	72	72	1.4%	12.5%	52.8%	33.3%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	25.0%	46.9%	28.1%

2-9 健康危機管理に係る各対策の目標を認識し住民や外部機関にそれを説明できる

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーの レベル最終案
	n	n	有効回答数	習得の必要はない 知っている必要あり	知っている必要あり 理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	736	0.4%	13.4%	47.2%	38.5%
②医師	289	191	190	0.0%	2.1%	27.2%	70.2%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	47.8%	34.8%	17.4%
④保健師・看護師・助産師	185	131	129	0.0%	5.3%	54.2%	38.9%
⑤管理栄養士	57	39	38	0.0%	12.8%	61.5%	23.1%
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	17.9%	60.3%	21.8%
⑦獣医師	85	68	68	0.0%	11.8%	61.8%	26.5%
⑧放射線技師	45	36	36	2.8%	30.6%	44.4%	22.2%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	1.4%	28.6%	58.6%	11.4%
⑩事務職	97	72	72	1.4%	18.1%	50.0%	30.6%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	18.8%	37.5%	43.8%

判明事実・対策方針等の迅速・正確な内外に対する情報提供及び説明能力。スポーツスマンとしての役割。

2-10 対応に必要な責任体制と簡潔な意思決定プロセスを迅速に確立することができる

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーの レベル最終案
	n	n	有効回答数	習得の必要はない 知っている必要あり	知っている必要あり 理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	735	1.1%	17.0%	50.9%	30.3%
②医師	289	191	190	0.0%	3.1%	27.7%	68.6%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	39.1%	43.5%	13.0%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	13.0%	67.9%	18.3%
⑤管理栄養士	57	39	38	2.6%	46.2%	43.6%	5.1%
⑥薬剤師	91	78	78	1.3%	15.4%	65.4%	17.9%
⑦獣医師	85	68	67	1.5%	13.2%	67.6%	16.2%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	41.7%	47.2%	11.1%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	4.3%	31.4%	60.0%	4.3%
⑩事務職	97	72	72	1.4%	16.7%	51.4%	30.6%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	31	0.0%	18.8%	46.9%	31.3%

2-11 被害者、周辺住民、マスコミ、政治家等に対して、必要事項を科学的に正確かつ的確に説明できる

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーの レベル最終案
	n	n	有効回答数	習得の必要はない 知っている必要あり	知っている必要あり 理解している必要あり	実践で応用できる	
①全回答集計	992	740	736	0.9%	16.8%	49.5%	32.3%
②医師	289	191	190	0.0%	3.1%	32.5%	63.9%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	47.8%	30.4%	21.7%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	12.2%	61.8%	25.2%
⑤管理栄養士	57	39	38	0.0%	28.2%	46.2%	23.1%
⑥薬剤師	91	78	78	1.3%	17.9%	61.5%	19.2%
⑦獣医師	85	68	67	0.0%	17.6%	52.9%	27.9%
⑧放射線技師	45	36	36	2.8%	30.6%	61.1%	5.6%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	2.9%	21.4%	65.7%	10.0%
⑩事務職	97	72	72	4.2%	27.8%	45.8%	22.2%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	25.0%	40.6%	34.4%

2-12 受身対応ではなく、積極的に対策の方針や判明した事実・教訓を発信できる

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	n	習得の必要はない 知っている必要あり	理解している必要あり 実践で応用できる				
①全回答集計	992	740	735	0.4%	16.6%	45.9%	36.4%	A
②医師	289	191	189	0.0%	3.7%	30.4%	64.9%	実践で応用できる
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	43.5%	34.8%	21.7%	理解している必要あり
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	11.5%	48.9%	38.9%	理解している必要あり
⑤管理栄養士	57	39	38	0.0%	28.2%	43.6%	25.6%	理解している必要あり
⑥薬剤師	91	78	78	0.0%	16.7%	65.4%	17.9%	理解している必要あり
⑦獣医師	85	68	67	1.5%	17.6%	48.5%	30.9%	理解している必要あり
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	38.9%	52.8%	8.3%	理解している必要あり
⑨衛生検査技師(臨床検査技師を含む)	82	70	70	1.4%	25.7%	65.7%	7.1%	理解している必要あり
⑩事務職	97	72	72	1.4%	23.6%	41.7%	33.3%	理解している必要あり
⑪その他(職種その他・不明)	33	32	32	0.0%	18.8%	43.8%	37.5%	理解している必要あり

対策後フォロー。再発防止策を継続可能体制とするシステム・社会的コンセンサス形成能力。

2-13 PTSD(心的外傷後ストレス障害)や社会的弱者への対応ができる

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	n	習得の必要はない 知っている必要あり	理解している必要あり 実践で応用できる				
①全回答集計	992	740	735	2.6%	30.5%	45.5%	20.7%	A
②医師	289	191	189	0.5%	9.4%	69.6%	19.4%	理解している必要あり
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	17.4%	60.9%	17.4%	理解している必要あり
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	2.3%	27.5%	69.5%	実践で応用できる
⑤管理栄養士	57	39	37	2.6%	30.8%	46.2%	15.4%	理解している必要あり
⑥薬剤師	91	78	78	3.8%	62.8%	30.8%	2.6%	知っている必要あり
⑦獣医師	85	68	68	2.9%	54.4%	36.8%	5.9%	知っている必要あり
⑧放射線技師	45	36	36	2.8%	50.0%	44.4%	2.8%	知っている必要あり
⑨衛生検査技師(臨床検査技師を含む)	82	70	70	8.6%	55.7%	32.9%	2.9%	知っている必要あり
⑩事務職	97	72	72	4.2%	43.1%	50.0%	2.8%	理解している必要あり
⑪その他(職種その他・不明)	33	32	32	3.1%	46.9%	37.5%	12.5%	理解している必要あり

2-14 管轄地域の改善が必要なくみを検討し実現するための提案ができる

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	n	習得の必要はない 知っている必要あり	理解している必要あり 実践で応用できる				
①全回答集計	992	740	736	0.9%	17.7%	54.1%	26.8%	A
②医師	289	191	189	0.0%	3.7%	49.7%	45.5%	理解している必要あり
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	0.0%	21.7%	65.2%	13.0%	理解している必要あり
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	6.1%	42.0%	51.1%	実践で応用できる
⑤管理栄養士	57	39	38	0.0%	15.4%	59.0%	23.1%	理解している必要あり
⑥薬剤師	91	78	78	2.6%	24.4%	66.7%	6.4%	理解している必要あり
⑦獣医師	85	68	68	1.5%	22.1%	63.2%	13.2%	理解している必要あり
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	30.6%	63.9%	5.6%	理解している必要あり
⑨衛生検査技師(臨床検査技師を含む)	82	70	70	4.3%	42.9%	51.4%	1.4%	理解している必要あり
⑩事務職	97	72	72	1.4%	27.8%	56.9%	13.9%	理解している必要あり
⑪その他(職種その他・不明)	33	32	32	0.0%	31.3%	53.1%	15.6%	理解している必要あり

2-15 記録文書や科学論文として一連の対策を総括することができる

第1回調査		第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案	
n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	実践で応用できる	A	
①全回答集計	992	740	736	2.4%	25.4%	53.6%	18.0%
②医師	289	191	190	0.5%	7.9%	54.5%	36.6%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	47.8%	30.4%	17.4%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	16.0%	67.2%	16.0%
⑤管理栄養士	57	39	38	2.6%	28.2%	59.0%	7.7%
⑥薬剤師	91	78	78	2.6%	42.3%	46.2%	9.0%
⑦獣医師	85	68	68	1.5%	29.4%	51.5%	17.6%
⑧放射線技師	45	36	36	5.6%	33.3%	58.3%	2.8%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	4.3%	28.6%	54.3%	12.9%
⑩事務職	97	72	72	8.3%	50.0%	36.1%	5.6%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	31	3.1%	28.1%	59.4%	6.3%

平常時に必要なコンピテンシー

2-16 地域健康危機管理計画を策定・実施することができる

第1回調査		第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案	
n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	実践で応用できる	A	
①全回答集計	992	740	736	1.1%	17.4%	56.2%	24.7%
②医師	289	191	190	0.0%	4.2%	47.6%	47.6%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	4.3%	26.1%	52.2%	17.4%
④保健師・看護師・助産師	185	131	129	0.0%	7.6%	67.2%	23.7%
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	23.1%	56.4%	20.5%
⑥薬剤師	91	78	78	2.6%	24.4%	64.1%	9.0%
⑦獣医師	85	68	68	2.9%	20.6%	61.8%	14.7%
⑧放射線技師	45	36	36	0.0%	33.3%	61.1%	5.6%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	2.9%	40.0%	50.0%	7.1%
⑩事務職	97	72	71	0.0%	19.4%	58.3%	20.8%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	3.1%	28.1%	37.5%	31.3%

2-17 組織間連携に必要な事項（合同図上訓練など）を企画・調整・実施することができる

第1回調査		第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案	
n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	実践で応用できる	A	
①全回答集計	992	740	738	1.5%	17.3%	49.6%	31.4%
②医師	289	191	190	0.0%	3.7%	45.0%	50.8%
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	8.7%	26.1%	47.8%	17.4%
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.0%	6.9%	50.4%	42.0%
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	25.6%	53.8%	20.5%
⑥薬剤師	91	78	78	5.1%	19.2%	56.4%	19.2%
⑦獣医師	85	68	68	2.9%	27.9%	55.9%	13.2%
⑧放射線技師	45	36	36	2.8%	30.6%	52.8%	13.9%
⑨衛生検査技師（臨床検査技師を含む）	82	70	70	2.9%	42.9%	45.7%	8.0%
⑩事務職	97	72	72	0.0%	19.4%	48.6%	31.9%
⑪その他（職種その他・不明）	33	32	32	0.0%	21.9%	46.9%	31.3%

2-18 地域健康危機管理に必要な人材育成を企画・調整・実施することができる

職種別コンピテンシーのレベル最終案	第2回調査									
	第1回調査 n	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる			
①全回答集計	992	740	738	2.3%	21.5%	47.3%	28.6%			
②医師	289	191	190	0.0%	5.8%	51.8%	41.9%			
③歯科医師・歯科衛生士	28	23	23	8.7%	43.5%	43.5%	4.3%			
④保健師・看護師・助産師	185	131	130	0.8%	8.4%	42.7%	47.3%			
⑤管理栄養士	57	39	39	0.0%	28.2%	51.3%	20.5%			
⑥薬剤師	91	78	78	3.8%	38.5%	44.9%	12.8%			
⑦獣医師	85	68	68	2.9%	25.0%	52.9%	19.1%			
⑧放射線技師	45	36	36	2.8%	47.2%	44.4%	5.6%			
⑨衛生検査技師(臨床検査技師を含む)	82	70	70	5.7%	44.3%	42.9%	7.1%			
⑩事務職	97	72	72	4.2%	20.8%	48.6%	26.4%			
⑪その他(職種その他・不明)	33	32	32	3.1%	18.8%	40.6%	37.5%			

回答者の職位

【職位別】地域健康危機管理コンピテンシー-Delphiメンバー事前調査票②（職位別）

A 発生の「第一報」「初動調査結果」から、地域保健上のインパクト（影響の大きさ）を計る（量る）能力
 1. 平常時から非常時態勢への移行を判断することができる

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
	n	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	
全体	992	740	738	0.1%	7.2%	50.0%	42.4%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	311	0.0%	1.0%	35.9%	62.8%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	321	0.3%	12.1%	61.5%	25.8%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	6.7%	55.6%	37.8%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	0.0%	20.0%	65.7%	14.3%

2. 発生事態のインパクト（影響の大きさ）推計に必要な知識・技術を身につけている

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
	n	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	
全体	992	740	736	0.1%	10.8%	60.0%	28.5%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	309	0.0%	2.2%	53.5%	43.3%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	321	0.3%	15.8%	64.6%	18.9%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	15.6%	73.3%	11.1%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	0.0%	28.6%	65.7%	5.7%

2-1. 医学・公衆衛生学の知識・技術

第1回調査	第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
	n	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	
全体	992	740	738	0.5%	13.5%	40.7%	45.0%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	311	0.0%	3.8%	35.3%	60.6%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	321	0.0%	9.6%	49.4%	40.7%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	4.4%	57.8%	28.9%	8.9%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	5.7%	68.6%	25.7%	0.0%

2-2. 行政に関する知識・技術

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	A
全体	992	740	0.0%	6.6%	57.8%	34.9%		
管理的立場の保健医療専門職	822	312	0.0%	4.2%	49.0%	46.2%	理解している必要あり	
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	0.0%	9.9%	67.7%	21.4%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	0.0%	0.0%	48.9%	51.1%	実践で応用できる	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	0.0%	5.7%	54.3%	40.0%	理解している必要あり	

2-3. 管轄地域の基礎情報（社会資源など）

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	A
全体	992	740	0.0%	16.2%	53.2%	29.7%		
管理的立場の保健医療専門職	822	312	0.0%	8.3%	56.1%	34.9%	理解している必要あり	
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	0.0%	20.8%	51.9%	27.0%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	0.0%	8.9%	55.6%	33.3%	理解している必要あり	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	0.0%	45.7%	42.9%	8.6%	理解している必要あり	

3. インパクト推計に必要な情報を収集することができる

第1回調査	第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案			
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	A
全体	992	740	0.5%	13.8%	61.2%	24.1%		
管理的立場の保健医療専門職	822	312	0.3%	6.1%	58.7%	34.3%	理解している必要あり	
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	0.6%	16.5%	66.8%	15.8%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	0.0%	22.2%	57.8%	20.0%	理解している必要あり	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	0.0%	42.9%	54.3%	2.9%	理解している必要あり	

4. 健康被害拡大防止策を組織的に講じることができる

第1回調査	第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A	
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり		実践で応用できる
全体	992	740	733	0.0%	9.6%	47.8%	41.6%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	309	0.0%	1.9%	32.7%	64.4%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	319	0.0%	15.5%	59.6%	23.9%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	4.4%	60.0%	35.6%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	0.0%	34.3%	51.4%	14.3%

B 原因究明調査のマネジメント能力

5. 初動調査等、実地疫学をはじめとする知識・技術により健康被害の原因究明調査を行うことができる

第1回調査	第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A	
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり		実践で応用できる
全体	992	740	737	0.5%	14.7%	38.8%	45.5%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	311	0.0%	3.5%	31.1%	65.1%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	320	0.0%	14.9%	47.8%	36.6%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	2.2%	60.0%	31.1%	6.7%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	8.6%	57.1%	34.3%	0.0%

6. 外部専門調査機関（地方衛研・国の機関・CDC など）との調整・マネジメントができる

第1回調査	第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A	
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり		実践で応用できる
全体	992	740	736	2.3%	28.8%	50.3%	18.1%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	310	0.3%	10.9%	54.5%	33.7%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	320	3.4%	38.8%	50.9%	6.2%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	2.2%	51.1%	33.3%	13.3%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	8.6%	57.1%	34.3%	0.0%

C 対策遂行の組織マネジメント能力

7. 所属機関内部において適切な決断や指示・調整などの組織管理ができる

	第1回調査		第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n		n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	
全体	992		740	736	0.9%	12.6%	41.1%	44.9%
管理的立場の保健医療専門職	822		312	310	0.0%	1.9%	24.7%	72.8%
非管理的立場の保健医療専門職	107		322	320	2.2%	23.6%	55.0%	18.6%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37		45	45	0.0%	2.2%	37.8%	60.0%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15		35	35	0.0%	14.3%	60.0%	25.7%

8. 対外的に組織間調整を行うことができる（医師会・近隣自治体・国・など）

	第1回調査		第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n		n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	
全体	992		740	737	1.5%	18.4%	48.1%	31.6%
管理的立場の保健医療専門職	822		312	311	0.0%	5.8%	39.4%	54.5%
非管理的立場の保健医療専門職	107		322	320	2.8%	31.1%	55.6%	9.9%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37		45	45	0.0%	11.1%	42.2%	46.7%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15		35	35	2.9%	20.0%	60.0%	17.1%

9. 健康危機管理に係る各対策の目標を認識し住民や外部機関にそれを説明できる

	第1回調査		第2回調査					職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n		n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	知っている必要あり	
全体	992		740	736	0.4%	13.4%	47.2%	38.5%
管理的立場の保健医療専門職	822		312	311	0.0%	2.6%	40.4%	56.7%
非管理的立場の保健医療専門職	107		322	319	0.3%	22.4%	53.1%	23.3%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37		45	45	0.0%	8.9%	46.7%	44.4%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15		35	35	2.9%	31.4%	51.4%	14.3%

D 判明事実・対策方針等の迅速・正確な内外に対する情報提供及び説明能力。スポークスマンとしての役割

10. 対応に必要な責任体制と簡潔な意思決定プロセスを迅速に確立することができる

	第1回調査		第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	実践で応用できる		
								n	
全体	992	740	735	1.1%	17.0%	50.9%	30.3%		
管理的立場の保健医療専門職	822	312	310	0.0%	4.5%	42.0%	52.9%	実践で応用できる	
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	319	1.9%	28.9%	59.6%	8.7%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	8.9%	44.4%	46.7%	実践で応用できる	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	2.9%	28.6%	62.9%	5.7%	理解している必要あり	

11. 被害者、周辺住民、マスコミ、政治家等に対して、必要事項を科学的に正確かつ的確に説明できる

	第1回調査		第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	実践で応用できる		
								n	
全体	992	740	736	0.9%	16.8%	49.5%	32.3%		
管理的立場の保健医療専門職	822	312	311	0.0%	4.5%	42.3%	52.9%	実践で応用できる	
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	319	1.2%	25.2%	56.8%	15.8%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	22.2%	46.7%	31.1%	理解している必要あり	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	8.6%	37.1%	48.6%	5.7%	理解している必要あり	

12. 受身対応ではなく、積極的に対策の方針や判明した事実・教訓を発信できる

	第1回調査		第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	実践で応用できる		
								n	
全体	992	740	735	0.4%	16.6%	45.9%	36.4%		
管理的立場の保健医療専門職	822	312	310	0.0%	5.8%	39.1%	54.5%	実践で応用できる	
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	319	0.6%	25.5%	52.2%	20.8%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	13.3%	40.0%	46.7%	実践で応用できる	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	2.9%	37.1%	48.6%	11.4%	理解している必要あり	

E 対策後フォロー。再発防止策を継続可能体制とするシステム・社会的コンセンサス形成能力

13. PTSD（心的外傷後ストレス障害）や社会的弱者への対応ができる

第1回調査		第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	A		
全体	740	735	2.6%	30.5%	45.5%	20.7%		
管理的立場の保健医療専門職	312	310	1.3%	17.9%	58.3%	21.8%	理解している必要あり	
非管理的立場の保健医療専門職	322	319	3.1%	37.6%	34.2%	24.2%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	45	45	4.4%	33.3%	57.8%	4.4%	理解している必要あり	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	35	35	5.7%	57.1%	31.4%	5.7%	知っている必要あり	

14. 管轄地域の改善が必要なくみを検討し実現するための提案ができる

第1回調査		第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	A		
全体	740	736	0.9%	17.7%	54.1%	26.8%		
管理的立場の保健医療専門職	312	310	0.3%	6.4%	53.8%	38.8%	理解している必要あり	
非管理的立場の保健医療専門職	322	320	1.6%	24.5%	54.3%	18.9%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	45	45	0.0%	24.4%	51.1%	24.4%	理解している必要あり	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	35	35	2.9%	37.1%	60.0%	0.0%	理解している必要あり	

15. 記録文書や科学論文として一連の対策を総括することができる

第1回調査		第2回調査						職種別コンピテンシーのレベル最終案
n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	A		
全体	740	736	2.4%	25.4%	53.6%	18.0%		
管理的立場の保健医療専門職	312	310	1.0%	12.8%	56.1%	29.5%	理解している必要あり	
非管理的立場の保健医療専門職	322	320	2.5%	31.1%	55.0%	10.9%	理解している必要あり	
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	45	45	4.4%	46.7%	40.0%	8.9%	知っている必要あり	
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	35	35	11.4%	54.3%	34.3%	0.0%	知っている必要あり	

F 平常時に必要なコンピテンシー

16. 地域健康危機管理計画を策定・実施することができる

	第1回調査		第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
全体	992	740	736	1.1%	17.4%	56.2%	24.7%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	310	0.3%	6.1%	55.8%	37.2%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	321	1.9%	27.0%	56.5%	14.3%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	44	0.0%	11.1%	57.8%	28.9%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	0.0%	31.4%	60.0%	8.6%

17. 組織間連携に必要な事項（合同図上訓練など）を企画・調整・実施することができる

	第1回調査		第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
全体	992	740	738	1.5%	17.3%	49.6%	31.4%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	311	0.3%	6.1%	49.7%	43.6%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	321	3.1%	26.4%	50.0%	20.2%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	11.1%	46.7%	42.2%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	0.0%	28.6%	51.4%	20.0%

18. 地域健康危機管理に必要な人材育成を企画・調整・実施することができる

	第1回調査		第2回調査				職種別コンピテンシーのレベル最終案 A
	n	有効回答数	習得の必要はない	知っている必要あり	理解している必要あり	実践で応用できる	
全体	992	740	738	2.3%	21.5%	47.3%	28.6%
管理的立場の保健医療専門職	822	312	311	0.6%	8.7%	51.0%	39.4%
非管理的立場の保健医療専門職	107	322	321	3.4%	33.2%	43.5%	19.6%
管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	37	45	45	0.0%	17.8%	46.7%	35.6%
非管理的立場の事務職（非保健医療専門職）	15	35	35	8.6%	25.7%	51.4%	14.3%

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
「地域健康危機管理に従事する公衆衛生行政職員の人材開発及び人員配置に関する研究」

分担研究報告書

分担研究課題：「職種別およびすべての公衆衛生従事者に求められる地域健康危機管理に必要な人材開発と人員配置のあり方に関する研究」

研究その 2：「保健所等の公衆衛生行政職員に対する人材育成に係る調査研究」
（実態調査）

研究分担者 橘とも子
（国立保健医療科学院室長研究情報センター情報デザイン室長）

研究協力者 曾根智史（国立保健医療科学院公衆衛生政策部長）
荒田吉彦（北海道旭川市保健所所長）
大原智子（栃木県県北健康福祉センター健康福祉部部長）
大熊和行（三重県保健環境研究所所長）
安藤雄一（国立保健医療科学院口腔保健部口腔保健情報室長）
中村宗達（静岡県厚生部医療健康局）
杉本智子（新潟県 福祉保健部健康対策課歯科保健・食育推進係）
竹中佐智子（神戸市市保健福祉局健康部地域保健課）
志賀愛子（神奈川県保健福祉部健康増進課）
佐藤加代子（国立保健医療科学院生涯保健部公衆栄養室長）
濱口優子（石川県健康福祉部子育て支援課）
磯部澄枝（新潟県十日町地域振興局健康福祉部地域保健課地域保健担当）
田崎達明（健康安全研究センター広域監視部）
鈴木晃（国立保健医療科学院建築衛生部健康住宅室長）
中島二三男（東京都福祉保健局健康安全部環境衛生課）
八木憲彦（（財）東京都医学研究機構）
五味武人（東京都港区みなと保健所生活衛生センター）
松原定雄（東京都立北多摩看護学校校長）
二宮博文（東京都多摩小平保健所企画調整課）